

## JT65HF\_To\_Hamlog Ver.2011.02.01 説明書

JT65 モードの通信プログラム JT65-HF のログデータをリアルタイムで Hamlog へ転送するプログラムです。 JT65-HF、Hamlog と同時に起動して使います。 JT65 交信中のログ作成が便利になります。

主な機能は以下の通りです。

- ・ JT65-HF の Log 機能で作成される jt65hf\_log.adi を読み、Hamlog へ転送・登録する。
- ・ Name、QTH、Remark1、Remark2 に任意のデータを設定しておける。
- ・ 日付・時刻は UTC/JST 切替で日本の環境にも合う様に設定可能。
- ・ Hamlog 登録は確認あり/なしの設定を出来る。
- ・ Mode は JT65-HF のデータと手入力のデータのどちらかを選択できる。
- ・ Remarks 欄に QSO カウントアップテキストを転送できる。
- ・ QTH 又は Remarks 欄に GL より計算した相手局の方位角・距離を転送できる。

### 0 . 著作権と利用許諾の表示

あまり、このようなことは記述したくないのですが、一応、諸先輩の助言に従って以下の通り表示します。

このプログラムは著作権によって保護されています。

「利用許諾について」:

このプログラムは利用者の全責任において、危険性を全て覚悟して利用して下さい。

これに関して、このプログラムの作成者は一切責任を負いません。

これに同意できる人だけがこのプログラムを利用できます。

もし、これに同意できなければ、このプログラムを利用できません。

著作権保有者： Taka, JA2GRC/3

### 1 . 同梱ファイル

JT65HF\_To\_Hamlog\_20110201.zip には以下のファイルが含まれます。

JT65HF_To_Hamlog.exe	実行ファイル
JT65HF_To_Hamlog_Quick_Guide.pdf	この説明書

### 2 . インストールと実行

JT65HF\_To\_Hamlog.exe の実行には以下のパソコン環境が必要です。

Microsoft Windows XP SP3

Microsoft .NET Framework 3.5 SP1

Microsoft .NET Framework 3.5 Language Pack SP1 - 日本語

( Windows Vista、Windows7 でも動作するというレポートが有りましたが、ウインドウのデザインが変わるので、サイズ調整が必要かも知れません。)

.NET Framework については、ウィキペディアなどに分かり易く解説されています。  
従来の VB ランタイムに相当する物です。

WindowsXP を SP3 にアップしていても、.NET Framework 1.0 のままの場合が多いです。 「プログラムの追加と削除」でバージョンを確認してください。 今後とも、Microsoft の主力となる環境ですので、アップして損はありません。

.NET Framework 3.5 のインストールには、MicrosoftUpdate を利用すると安全です。

- ・ MicrosoftUpdate の「ようこそ」画面から「カスタム」を選択
- ・ 左のサイドバーの WindowsXP を選択
- ・ メイン画面の Microsoft Windows XP の一覧から Microsoft .NET Framework 関連

- を選択し、ダウンロード・インストールする。
- ・インストールにはかなりの時間（数分～十数分）がかかります。ハングアップしたかと勘違いしますが、じっと待っておればインストールが始まります。
  - ・後は、メッセージに従って、再起動すれば完了です。
  - ・「プログラムの追加と削除」で確認すると、.NET Framework 3.5 だけでなく、途中のバージョンもインストールされています。

さて、環境が準備できたら、JT65HF\_To\_Hamlog をインストールしてください。

JT65HF\_To\_Hamlog\_20110201.zip を解凍し、適当なフォルダに置いてください。  
JT65HF\_To\_Hamlog.exe が置かれたフォルダはワークエリアとして使われますので、R/W 出来るエリアを指定してください。JT65-HF の置かれているフォルダと一緒に置いておけば、フォルダの指定などが便利かもしれません。  
バージョンアップの場合は、従来バージョンに上書きインストールしてください。

JT65HF\_To\_Hamlog.exe を実行すれば起動します。  
ショートカットをデスクトップに貼り付けておけば、何かと便利だと思います。

新たにインストールした時は 設定ファイル JT65HF\_To\_Hamlog.cfg が存在しないので、初期値で JT65HF\_To\_Hamlog.exe と同じフォルダに作成されます。次回の起動からは、設定された値で起動します。

バージョンアップで、cfg ファイルの形式が違う場合は、最初の起動時に、旧バージョンの JT65HF\_To\_Hamlog.cfg ファイルを新しいバージョンのフォーマットに変換します。  
古い JT65HF\_To\_Hamlog.cfg ファイルは、JT65HF\_To\_Hamlog\_201xxxxx.cfg などと、古いバージョンの日付を付けた名前に変更して、バックアップが取られます。  
次回の起動からは、新しいフォーマットの JT65HF\_To\_Hamlog.cfg を読み込みます。

なお、古いバージョンからのバージョンアップで、JT65HF\_To\_Hamlog.ini ファイルが残っている場合は、最初に、JT65HF\_To\_Hamlog.cfg に変更し、設定ファイルとして読み込まれます。

### 3 . アンインストール

インストールした全てのファイル、および、作成された JT65HF\_To\_Hamlog.cfg および変換された古い cfg ファイル JT65HF\_To\_Hamlog\_2010506.cfg 等を削除してください。また、旧バージョンから使われている場合は JT65HF\_To\_Hamlog\_2010506.ini 等も削除してください。レジストリは使っていません。

## JT65HF\_to\_Hamlog\_Quick\_Guide\_1

JT65-HF Version 1.0.7 [de JA2GRC]

Setup Rig Control Raw Decoder Stations Heard Transmit Log About JT65-HF

Audio Input Levels: L-1, R-1. Optimum input level is 0 with only background noise present. Digital Audio Gain: L: 0, R: 0.

2011-Jan-30 07:02:12

Double click an entry in

UTC	Sync	dB
07:01	2	-20
07:00	1	-13
07:00	3	-22
06:59	2	-20
06:59	1	-25
06:58	7	-12
06:58	3	-18
06:57	2	-21
06:57	4	-21
06:56	6	-16
06:56	3	-24
06:53	4	-19

Left click waterfall to set TX CF, Right click sets RX CF. Current Operation: Receiving. RX/TX Progress

Color-map Brightness Contrast Speed Gain Smooth

Message To TX: SP4KM JA2GRC PM74

TX Text (13 Characters) **TX OFF**

Enable TX Halt TX

TX Generated

SP4KM JA2GRC PM74

TX Even TX Odd

Use buttons below to call CQ and answer callers.

Call CQ Answer Caller Send RRR

Use buttons below when answering CQ.

Answer CQ Send Report

TX DF RX DF TX to Call Sign Rpt (#)

501 501 TX DF = RX DF SP4KM -19

Zero Zero

Log QSO

Single Decoder BW AFC Noise Blank

100

Restore Defaults

Enable Multi-decoder Reports Sent

Enable RB Enable PSKR

Dial QRG KHz

14076

Right Click for Menu

Log Contact

Call SP4KM Grid KO03

Date 20110130 Start Time 0653 End Time 0702

Frequency 14.076 MHz

Notes

Location of Log file (jt65hf\_log.adi)

D:\Documents\lotsuka\_h\My Documents\Application\_Data\

Log Contact And Close This Window Cancel

ログファイルの位置

JT65-HFのLogQSOをクリックすると Log Contact が表示される

## JT65HF\_to\_Hamlog\_Quick\_Guide\_2

JT65HF\_to\_Hamlog

UTC/JST切替 CI-Vを使う時は外す JT65-HFからくるデータは黄色で表示

JT65HF\_Log\_Data

His Call ☒ DX Date (UTC) Time His My ☒ Freq Mode GL ☒ QSL

SP4KM 11/01/30 0653U -19 -15 14.076 JT65 KO03 J

☒ Name Az=326 8,385km Poland

☒ QTH

☒ Remarks1 大阪枚方:IC-756PRO+15mh

☒ Remarks2

チェックで転送

Setting Files Test Clear Hamlog ☒ Send ☐ Save ☒ Save(Msg) Resend

LOG-[A] IC-756PRO/J JT65-HF

自動転送 登録確認あり 再送する

テスト

登録確認なし

フォルダ設定 データ欄クリア

His Name QTH Az=326 8,38

Remarks1 大阪枚方:IC-756PRO+15mh-5el

Remarks2

データの追加

データを登録してよろしいですか?

(はい) (いいえ) キャンセル

Save

Log Contact

Date 20110130 Start Time 0653 End Time 0702

Sent -19 Received -15 Power Watts

JT65-HFのLog Contact And Close This Window をクリックでHamlogまで転送・登録される

Log Contact And Close This Window Cancel



#### 4. 操作の簡単な説明 (特に注釈のないクリックはマウス左ボタンクリックです)

##### ・起動時の設定

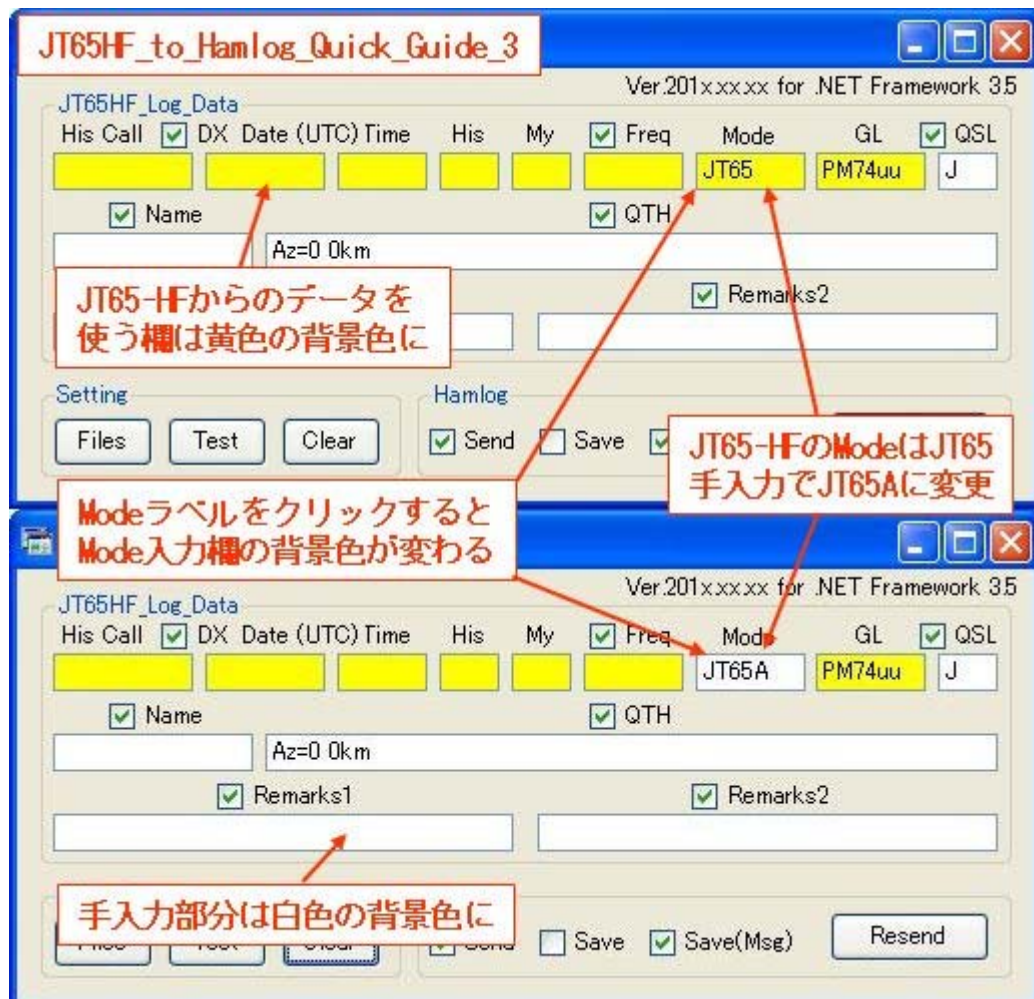
- ・インストール後、最初の起動時には、cfg ファイルが無いので、初期値で起動します。終了時に各種設定を、cfg ファイルに保存し、次回からはこの cfg ファイルを読み込み、前回の設定の状態ですべて起動します。
- ・もう一つ、インストール後、最初の起動時に、JT65-HF 関連のファイルの設定をします。設定ダイアログに従って、jt65hf\_log.adi の位置を設定してください。  
jt65hf\_log.adi の位置は、JT65-HF の Log QSO をクリックした時に表示される Log Contact ダイアログの Location of Log file (jt65hf\_log.adi) に表示されています。

##### ・簡単な操作説明

- ・通常は Send チェック欄と、Save または Save(Msg) チェック欄のどちらかにチェックを付けておきます。
- ・JT65-HF でレポートを交換終了して交信が成立した時点で、「Log QSO」をクリックし、出てきたダイアログの内容を確認します。
- ・「Log Contact And Close This Window」をクリックすると、表示されたログデータが Hamlog へ転送・登録されます。他に特別な操作は必要ありません。

##### ・ His Call, Date, Time, His, My, Freq, Mode, GL 入力欄

- ・ JT65-HF から読み込んだログを表示します。
- ・ 自動転送しない場合は、手入力で修正が可能です。
- ・ Mode ラベルをクリックすると、Mode 入力欄が黄色 白色と交互に変化します。黄色の場合は JT65-HF からの転送データ(JT65)で書き換えられ、使用されます。白色の場合は JT65A 等の手入力データが使用されます。



・ QSL, Name, QTH, Remarks1, Remarks2 入力欄

- ・ 任意のデータを入力できます。固定的なデータを書き込みたい場合に入力しておきます。
- ・ QSL 欄をクリックすると”J”と”N”が交互に切り替わります。
- ・ チェックを付けている項目が Hamlog に送出されます。 但し、このチェックによる転送よりも、Hamlog 設定によるデータの方が優先になる場合が有るようです。
- ・ Remarks1 又は Remarks2 欄の現メッセージの前にカウンタを挿入できます。
- ・ QTH 又は Remarks1 又は Remarks2 欄の現メッセージの前に GL から計算した方位角・距離を挿入できます。 なお、DX がチェックされている場合は、一旦コールサインよりエンティティ名が検索されるので、そのエンティティ名を読込、その前に挿入されます。
- ・ QTH 又は Remarks1 又は Remarks2 をダブルクリックすると、Setup ダイアログが表示されます。 ここで、コンテスト用カウンタの使用や、方位・距離の挿入などを設定できます。 カウンタは DQP や NYP などで、交信局数の自動カウントをする場合などに設定しておくくと便利です。 また、どの欄に挿入するか、プリフィックス文字、桁数、カウント初期値等が設定できます。 また、方位角・距離を使う場合は、自局 GL を設定します。
- ・ JT65-HF から送られてくる GL は 4 桁ですので、グリッドスクエア(日本付近では緯度方向に  $1^{\circ}=111\text{km}$ 、経度方向に  $2^{\circ}=183\text{km}$ )程度の誤差が有ります。 方位・距離はグリッドスクエアの中心として計算しています。

**JT65HF\_to\_Hamlog\_Quick\_Guide\_4** Ver.201xxx.xx for .NET Framework 3.5

JT65HF\_Log\_Data

His Call ☒ DX Date (UTC) Time His My ☒ Freq Mode GL ☒ QSL

☒ Name ☒ QTH

☒ Remarks1 ☒ Remarks2

**QTH, Remarks1 又は Remarks2 欄をダブルクリック**

**コンテスト番号を挿入**

**方位角・距離を挿入**

**Setup**

Contest Counter

☒ Use Counter

☐ Remarks1 ☒ Remarks2

Prefix Figures Current Count

DQP\_WSJ- 3 1

Current Text

DQP\_WSJ-001

**頭文字** **桁数** **初期値**

Az and Distance

☒ Use Az and Distance

☒ QTH ☐ Remarks1 ☐ Remarks2

Current Text

Az=0 0km

My GL

PM74uu **自局GL** OK

- ・ DX チェック欄
  - ・ここにチェックを付けていると、Hamlog の DX チェック欄にそのまま転送されます。
  - ・Hamlog の設定により、エンティティ名の検索が行われます。
- ・ (UTC)/(JST)ラベル
  - ・ラベル(文字)をクリックする毎に表示が(UTC)と(JST)に切り替わります。
  - ・同時に、Date、Time 欄の表示内容も、UTC と JST に切り替わります。
  - ・表示されている日付・時刻が Hamlog へ転送されます。
- ・ Freq チェック欄
  - ・CI-V 等を使って周波数を Hamlog に読み込む設定をしている場合はチェックを外しておきます。この場合は、周波数は Hamlog へ転送されません。
  - ・チェックを付けている場合は JT65-HF からの周波数が Hamlog へ転送されます。
- ・ Files ボタン (jt65hf\_log.adi ファイルの位置設定)
  - ・インストール後、最初の起動時にする JT65-HF 関連のファイル設定と同じ動作をします。
- ・ Test ボタン (テストデータ設定)
  - ・His Call, Date, Time, His, My, Freq, Mode, GL の各入力欄へテストデータを設定します。
- ・ Clear ボタン (データ入力欄のクリア)
  - ・His Call, Date, Time, His, My, Freq, Mode, GL の各入力欄をクリアします。
- ・ Send チェック欄
  - ・チェックを付けていると、JT65-HF から新しいデータが取り込まれた場合、自動的に Hamlog に転送されます。また、右の Save, Save(Msg)欄、Resend ボタンが操作可能になります。
  - ・Resend をクリックして Hamlog へ手動転送する場合もチェックを付けて置いてください。
- ・ Save、Save(Msg)チェック欄
  - ・ここにチェックを付けていると、自動または手動で Hamlog へ転送した場合に、自動登録されます。
  - ・Save の場合は、確認メッセージなし、Save(Msg)の場合は確認メッセージありとなります。
- ・ Resend ボタン (手動転送)
  - ・クリックしますと入力欄の内容を Hamlog に転送します。
  - 入力データを書き換えた時などに使用します。

## 5 . 処理の簡単な説明

- ・ JT65-HF ログデータの取込
  - ・タイマー設定(標準は 1 秒ごと)により、jt65hf\_log.adi を読込、一番最後の行を取り込む。
  - ・His Call と Date, Time が前回取込データと同じなら、何もしない。
  - ・His Call と Date, Time が前回取込データと違っていたら、新しいデータと判断して入力欄に取り込む
  - ・取り込んだデータは、チェックを参照しながら Hamlog へ転送される。

## 6 . 高度(危険)な操作

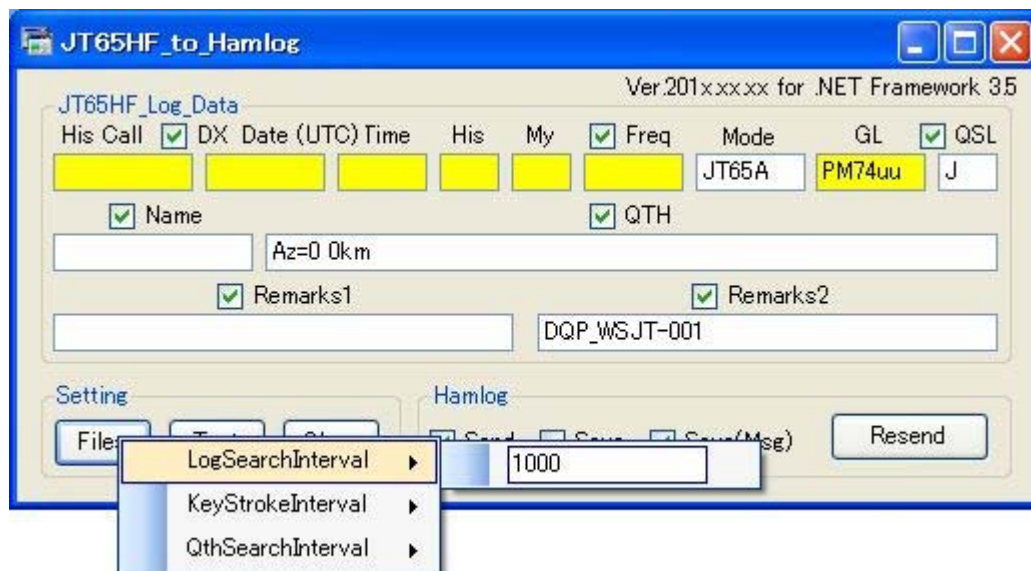
- ・上記のファイル操作や検索を行う場合は、タイマーを止めているので、問題は起こらないと思いますが、タイマー周期を変更したい場合は、File ボタン上で右クリックすると以下の様なメニューが出てきますので、ここで修正してください。  
(cfg ファイルのバックアップを取ってから実行してください。)
- ・タイマー (対応する cfg ファイルの位置、8-11 行目、初期値 : 1000、100、1500 )

### [Parameters]

LogSearchInterval=1000      ログを監視する周期  
KeyStrokeInterval=100      キーストローク遅延  
QthSearchInterval=1500      QTH 検索遅延

単位は ms です。あまり大きくすると、JT65-HF の「Log Contact And Close This Window」をクリックしてからのタイムラグが気になります。 また、あまり小さくすると誤動作します。特に DX フラグを立てている時の QTH 検索遅延は結構時間が掛かります。過去に QSO 履歴が無い場合は 500 程度で大丈夫みたいですが、過去に QSO 履歴がある場合は 1500 程度必要なようです。 当局のパソコンでは 1000 では上手く検索できませんでした。

- ・動作がおかしくなった時は、上記の初期値に戻すか、バックアップファイルに戻すか、あるいは、cfg ファイルを削除してから立ち上げ直してください。



## 7 . 既知のバグ

- ・今のところありません。

## 8 . 更新履歴

Ver. 2011.02.01

- ・QTH 又は Remarks 欄に GL より計算した相手局の方位角・距離の転送機能追加 (TNX 9J2KK/JF1OKX )
- ・設定ファイルの拡張子を.ini から.cfg に変更
- ・開発ツールを VB.net 2008 Express Edition に戻す ( .NET Framework 3.5 対応 )

Ver. 2011.01.13

- ・DX チェックの転送シーケンスを QTH 検索が実行される様に変更
- ・タイマー変更のメニューを追加
- ・開発ツールを VB.net 2010 Express Edition に変更 ( .NET Framework 4 が必要 )

**Ver. 2011.01.11**

- ・ QSL, Name, QTH, Remarks1, Remarks2 チェック欄の不具合を修正
- ・ DX チェック欄を追加

**Ver. 2010.05.14**

- ・ Mode の手入力機能を追加
- ・ Remarks 欄の QSO カウント機能を追加

**Ver. 2010.05.06**

- ・ 基本機能でのファーストリリース

----

**JA2GRC/3**

**URL:** <http://ja2grc.web.fc2.com/>